

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 2 区分
【発行日】 令和 7 年 4 月 22 日 (2025.4.22)

【国際公開番号】 WO2024/042947
【出願番号】 特願 2024-542666 (P2024-542666)
【国際特許分類】
H 0 1 F 27/29 (2006.01)
H 0 1 F 17/04 (2006.01)
【F I】
H 0 1 F 27/29 1 2 5
H 0 1 F 27/29 G
H 0 1 F 17/04 F

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 2 月 10 日 (2025.2.10)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

軸線方向に延びる巻芯部および前記巻芯部の前記軸線方向での互いに逆の端部にそれぞれ設けられた 1 対の鏝部を有する、コアと、
各前記鏝部に取り付けられた、金属板からそれぞれなる少なくとも 1 対の金属端子と、
前記少なくとも 1 対の金属端子の各々に接続され、かつ前記巻芯部に巻回された、少なくとも 1 本のワイヤと、
を備え、

30

各前記鏝部は、実装時において実装基板側に向けられる実装面と、前記実装面の反対側に向く天面と、前記実装面と前記天面とを連結するものであって、前記巻芯部側に向きかつ前記巻芯部の前記軸線方向での端部を位置させる内側端面と、前記内側端面の反対側に向く外側端面と、前記内側端面と前記外側端面とを連結しかつ互いに逆方向に向く第 1 側面および第 2 側面と、を有し、

各前記金属端子は、前記実装面に対向する実装面对向部と、前記外側端面に対向する外側端面对向部と、前記第 1 側面および前記第 2 側面の少なくとも一方に対向する側面对向部と、を有し、

前記金属端子が前記鏝部に対して、少なくとも前記外側端面对向部が前記外側端面から離れる方向に動くことを規制するための第 1 規制部、および少なくとも前記実装面对向部が前記実装面から離れる方向に動くことを規制するための第 2 規制部をさらに備える、
コイル部品。

40

【請求項 2】

前記鏝部は、前記内側端面の延びる方向に沿って延びる第 1 立上がり壁を有し、

前記金属端子は、前記第 1 立上がり壁に対向する第 1 対向壁を有し、

前記第 1 規制部は、前記第 1 立上がり壁と前記第 1 対向壁との当接によって与えられる、

請求項 1 に記載のコイル部品。

【請求項 3】

前記鏝部は、前記実装面の延びる方向に沿って延びる第 2 立上がり壁を有し、

前記金属端子は、前記第 2 立上がり壁に対向する第 2 対向壁を有し、

50

前記第 2 規制部は、前記第 2 立上がり壁と前記第 2 対向壁との当接によって与えられる、
請求項 2 に記載のコイル部品。

【請求項 4】

前記第 1 側面および前記第 2 側面の少なくとも一方に第 1 凸部が設けられ、
前記側面对向部に、前記第 1 凸部を受け入れる切り欠き部が設けられ、
前記第 1 凸部は、前記第 1 立上がり壁および前記第 2 立上がり壁を与える外周壁を備え

、
前記切り欠き部は、前記第 1 対向壁および前記第 2 対向壁を与える内周壁を備える、
請求項 3 に記載のコイル部品。

10

【請求項 5】

前記外側端面对向部は、前記実装面对向部から第 1 折り曲げ部を介して連なり、前記側面对向部は、前記実装面对向部から第 2 折り曲げ部を介して連なっている、請求項 1 に記載のコイル部品。

【請求項 6】

前記外側端面对向部は、前記実装面对向部から第 1 折り曲げ部を介して連なり、前記側面对向部は、前記外側端面对向部から第 2 折り曲げ部を介して連なっている、請求項 1 に記載のコイル部品。

【請求項 7】

前記金属端子は、前記実装面における前記第 1 側面側および前記第 2 側面側の少なくとも一方の端部において、前記実装面对向部に隣接しながら、前記実装面对向する実装面对向端部をさらに備える、請求項 6 に記載のコイル部品。

20

【請求項 8】

前記実装面对向端部は、前記外側端面对向部から第 3 折り曲げ部を介して連なっている、請求項 7 に記載のコイル部品。

【請求項 9】

前記実装面对向端部は、前記側面对向部から第 3 折り曲げ部を介して連なっている、請求項 7 に記載のコイル部品。

【請求項 10】

前記第 1 側面および前記第 2 側面の各々に向かって見たとき、前記第 1 凸部は、前記第 1 側面および前記第 2 側面の少なくとも一方において、前記外側端面と前記実装面とが交差する角に接するように位置され、

30

前記切り欠き部は、前記側面对向部における前記内側端面側の端縁および前記天面側の端縁から所定の距離を置いて位置される、
請求項 4 に記載のコイル部品。

【請求項 11】

前記鍔部は、前記金属端子の前記天面側の端縁の少なくとも一部に対向する第 2 凸部をさらに備える、請求項 4 に記載のコイル部品。

【請求項 12】

前記第 2 凸部は、前記側面对向部における前記天面側の端縁に対向する、請求項 11 に記載のコイル部品。

40

【請求項 13】

各前記金属端子は、前記側面对向部として、前記外側端面对向部を介して連なる、前記第 1 側面对向する第 1 側面对向部と、前記第 2 側面对向する第 2 側面对向部と、を有する、請求項 1 に記載のコイル部品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 6 7 】

図 6 に示したコイル部品 1 b によれば、上述のように、実装時にはんだが付与される実装面对向中央部 6 5 および 6 6 と、ワイヤ 2 1 が接続されることのある第 1 実装面对向端部 6 1 および 6 2 または第 2 実装面对向端部 6 3 および 6 4 と、が互いに分離されている。したがって、実装面对向中央部 6 5 および 6 6 に及ぼされる熱や応力といった負荷の影響を第 1 実装面对向端部 6 1 および 6 2 または第 2 実装面对向端部 6 3 および 6 4 が受けにくくし、第 1 実装面对向端部 6 1 および 6 2 または第 2 実装面对向端部 6 3 および 6 4 に及ぼされる熱や応力といった負荷の影響を実装面对向中央部 6 5 および 6 6 が受けにくくすることができる。そのため、実装基板と金属端子 2 3 b および 2 4 b との接続信頼性、ならびに金属端子 2 3 b および 2 4 b とワイヤ 2 1 との接続信頼性を高めることができる。

10

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 8 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 8 8 】

< 3 >

前記鍔部は、前記実装面の延びる方向に沿って延びる第 2 立上がり壁を有し、

前記金属端子は、前記第 2 立上がり壁に対向する第 2 対向壁を有し、

前記第 2 規制部は、前記第 2 立上がり壁と前記第 2 対向壁との当接によって与えられる

20

、
< 2 > に記載のコイル部品。

30

40

50